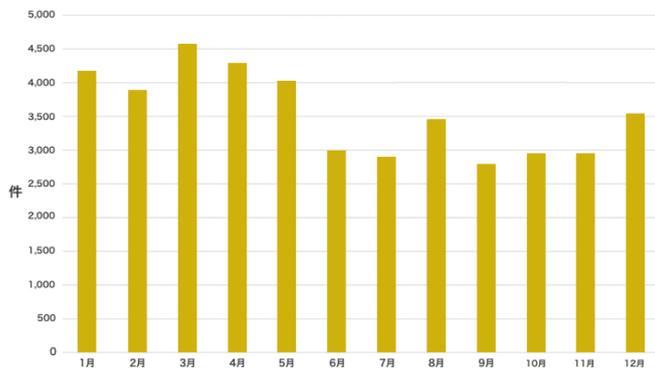


こんにちは。セントケアです。
セントケア便りは、皆様の生活の中でご利用いただける健康や暮らしの情報を定期的にお伝えさせていただいております。
ご意見・ご要望等ございましたら、発行元までご連絡ください。

冬から春にかけて、火災に気を付けましょう！！



月別火災件数（2010～2019年の10年平均）出典：総務省消防庁「消防統計（火災統計）」

左図は2010年～2019年の月別火災件数の平均値ですが、12月から件数が増え始め、1月～5月まで件数が多い状態が続いていることがわかります。冬場は空気の乾燥があり、春は乾燥が続くうえに、1年の中でも風が強い季節のため、全国的に火災が多く発生する時期になるといわれています。

住宅火災の主な出火原因は、**コンロ、たばこ、ストーブ、コード（配線）**などです。今月は火災を予防するためのポイントについてお伝えいたします。

コンロ

コンロからの出火は、毎年火災原因として上位にあげられます。天ぷら油からの出火も多く発生しています。

- 調理中はその場を離れない
- 離れるときは火を消す
- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 火が鍋底からはみ出さないように調整する
- 換気扇やグリルを清潔にする



たばこ

たばこによる火災はその多くが消し忘れ等の不注意から発生しています。吸い殻の火が完全に消えていることを確認しましょう。

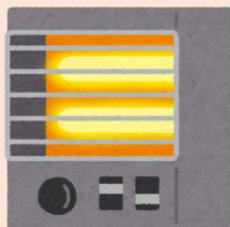
- 火のついたたばこを置いたままにしない
- 吸い殻は水に浸して完全に消火する
- 寝たばこは絶対にしない
- 吸い殻を灰皿にためない



ストーブ

ストーブも使用上の注意を怠ると火災の原因となります。ストーブの中で、最も多い原因は電気ストーブです。

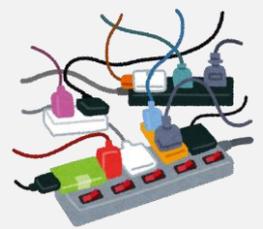
- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 外出時や就寝時は必ず消す
- ストーブの近くで洗濯物を乾かさない
- ストーブを持ち運ぶときや給油するときは必ず火を消す



コード（配線）

コンセントやコードは日ごろの点検が大切です。知らない間に発火する危険があります。

- タコ足配線はしない
- 使わないプラグは抜いておく
- プラグ、コンセントは定期的に掃除する（ホコリをためない）
- タップは決められた容量内にする
- 束ねて使用しない



住宅用火災警報器は作動しますか？

住宅用火災警報器は火災により発生する煙を感知して警報を発し、火災の発生を知らせるものです。

万が一の時に電池切れしていた、など無いよう定期的に作動確認をして、警報音を確認しましょう。



防災品を利用しましょう

住宅火災の多くは、火種が布製品などに移って燃え広がることによって起こっています。「防災品」は、素材に特殊な加工を施すことで「燃えにくさ」を備えたものです。防災品には、シーツ、カーテン・じゅうたん、枕や布団など様々なものがあります。こうした防災品を使用することで、火災発生の危険を減らすことができます。